

修繕設計書

所 属 部 課 名		下水道維持課							
部長	審議監	審議監	課長	補佐	補佐	主査		設計者	設計審査
事業名		地域排水ポンプピット修繕							
事業場所		松戸市高塚新田453番地2地先							
事業年度		令和 7 年度							
修繕価格		円							
請負修繕費計		円							

設 計 説 明	ピットスラブ修繕 1箇所
------------------	--------------

内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本修繕費								
	管路施設工							
		P C 蓋設置撤去		式	1			第 1 号内訳書参照
		舗装復旧工		式	1			第 2 号内訳書参照
		安全費		式	1			第 3 号内訳書参照
	直接修繕費計			式	1			
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純修繕費			式	1			
		現場管理費		式	1			
	修繕原価			式	1			

内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		一般管理費等		式	1			
	修繕価格			式	1			
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
修繕費計				式	1			

第 1 号内訳書

P C 蓋設置撤去

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
P C 蓋設置	2000×2000×200、雨水人孔蓋 T-14	式	1			
構造物とりこわし		m3	0.8			第 1 号単価表参照
積込（コンクリート殻）		m3	0.8			第 2 号単価表参照
鉄筋コンクリート運搬処分費		m3	0.8			
計						

第 2 号 内訳書 舗装復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	As舗装	m	9.5			第 3 号単価表参照
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	12.7			第 4 号単価表参照
舗装工	車道部 仮復旧	m2	1.3			第 5 号単価表参照
表層（車道・路肩部）		m2	11.4			第 6 号単価表参照
不陸整正		m2	12.7			第 7 号単価表参照
アスファルト運搬処分費		m3	0.6			
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工		m3	0.1			第 8 号単価表参照
計						

第 3 号 内訳書 安全費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
計						

第 1 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間 人力施工 制約受ける	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 2

鉄筋構造物

J02 工法区分 = 2

人力施工

J03 時間的制約の有無 = 2

有り

J04 夜間作業の有無 = 1

無し

第 2 号 単価表

積込（コンクリート殻）

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB224260

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 3 号 単価表

舗装版切断

As舗装

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (プレート)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 3 号 単価表

舗装版切断

As舗装

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1

J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 4 号 単価表 舗装版破碎積込（小規模土工）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720
J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 5 号 単価表

舗装工

車道部
仮復旧

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 5 号 単価表		舗装工		車道部 仮復旧		1 m2 当り		2 頁
名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要		
軽油		%	Z3					
	1 m2 当り							

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 5

無し

第 6 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 2.3～6.0 m	%	K1			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 13～14 t	%	K2			
ロードローラ [マカダム]	運転質量 10～12 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 6 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（1 3）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K－3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

第 7 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 7 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

第 8 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 9 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 9 号 単価表 土砂等運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J16 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 24.0km以下

J02 積込機種・規格 = 6
J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.13m3 (平積0.1m3)
有り

設計基本情報

・単価世代 2025年10月2日

- ・ 時間的制約状況 制約を受ける

- ・交通誘導警備員は時間的制約対象外

・諸経費工種 下水道工事(2)

・施工地域補正 共通仮設費：一般交通影響有り(2)-2 現場管理費：一般交通影響有り(2)-2

一 式 当 た り 内 訳 書

A blank grid with a diagonal line from the top-left to the bottom-right. The grid is composed of 10 columns and 20 rows. The diagonal line starts at the top-left corner (0,0) and ends at the bottom-right corner (10,20). The grid is divided into three sections by this line: a triangular section on the left, a rectangular section in the middle, and a triangular section on the right. The grid is used for drawing a line graph.

仕様書

修繕名称	地域排水ポンプピット修繕
適 用	人孔受枠が歪み鉄蓋とのあいだに振動が発生するため、修繕を実施するもの。
概要	ピットスラブ修繕 1箇所
一般事項	1. 本書及び図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事標準仕様書に準じるものとする。 2. 施工計画は、施工者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画しなければならない。また、設計内容を熟知し、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。 3. 施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事施工管理基準により行うものとする。 4. 修繕着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかをチェックし、その結果を監督職員に報告しなければならない。 5. 修繕着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等への周知を徹底し、通行人を含め、第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
安全・交通規制関係	1. 本修繕は昼間作業(9:00～16:00)を原則とする。施工中の交通整理員は、1日2名以上の配置を原則とするが、工種・施工形態及び交通量等を考慮し増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間においても同様とする。 2. 交通規制は、周辺の工事との調整を図り、適切に行わなければならない。 3. 施工に関しては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守すること。
残土・産業廃棄物関係	「建設副産物について」に基づく。
公害・対策関係	1. 修繕の使用機械は、低騒音及び排出ガス対策型機械を使用し、出来る限り振動等の発生を抑制する方法をとり、第三者に不快感を与えないように努力すること。
施工関係	1. 道路中心線の勾配を考慮し、できるだけ変化点を少なくするなど道路としての快適性が図れるよう計画すること。 2. その他詳細事項は「アスファルト舗装要綱」を参照し実施すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本修繕に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRI S)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者(元請業者)は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書(厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式)を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム(集荷目録制)」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェスト A 票、B2票、D 票、E 票(複写式伝票)を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D 票、E 票の写しを提出すること。また、排出事業者は A、B2、D、E 票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、(m³)は、 市 町地先、

片道運搬距離 kmの に搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

本修繕により発生する路盤廃材(m³)は、 市 町地先、
片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

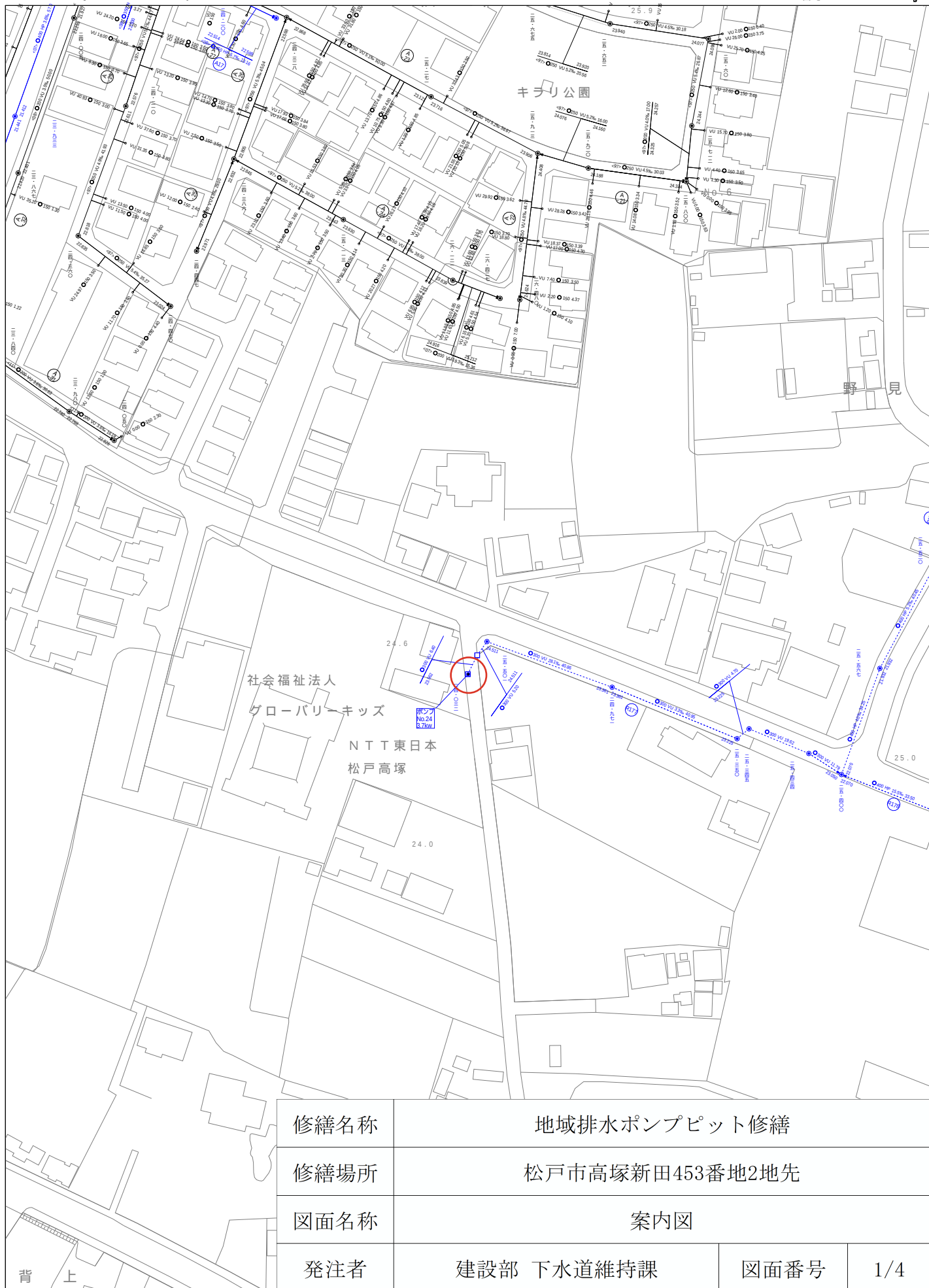
5. 建設廃棄物

本修繕により発生する

- 1)アスファルト塊(0.6m³)は、市川市下妙典 1153-1 地先、
片道運搬距離 11.2 kmの進榮建設工業(株)に運搬し、処理するものとする。
- 2)コンクリート塊(0.8m³)は、松戸市松飛台 286-17 地先、
片道運搬距離 4.9 kmの 石建商事(株)に運搬し、処理するものとする。
- 3)建設発生木材(m³)は、 市 町地先、
片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。
- 4)建設汚泥(0.1m³)は、八千代市吉橋字内野 1075-9 地先、
片道運搬距離 17.5 kmの千葉丸辰道路(株)に運搬し、処理するものとする。
- 5)建設混合廃棄物(m³)は、 市 町地先、
片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

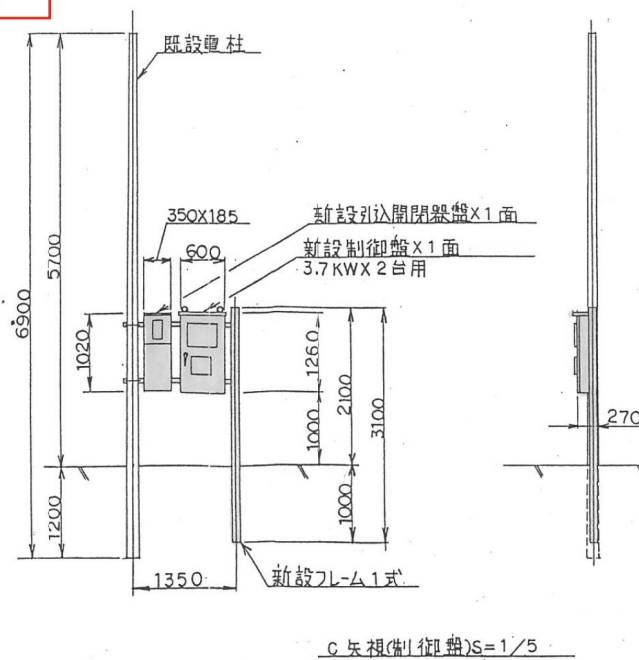
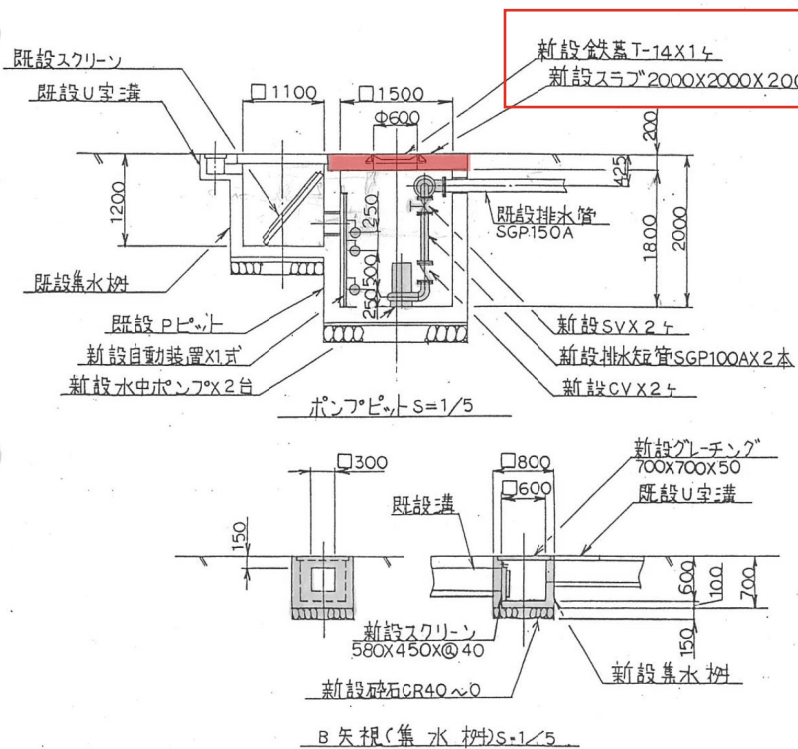
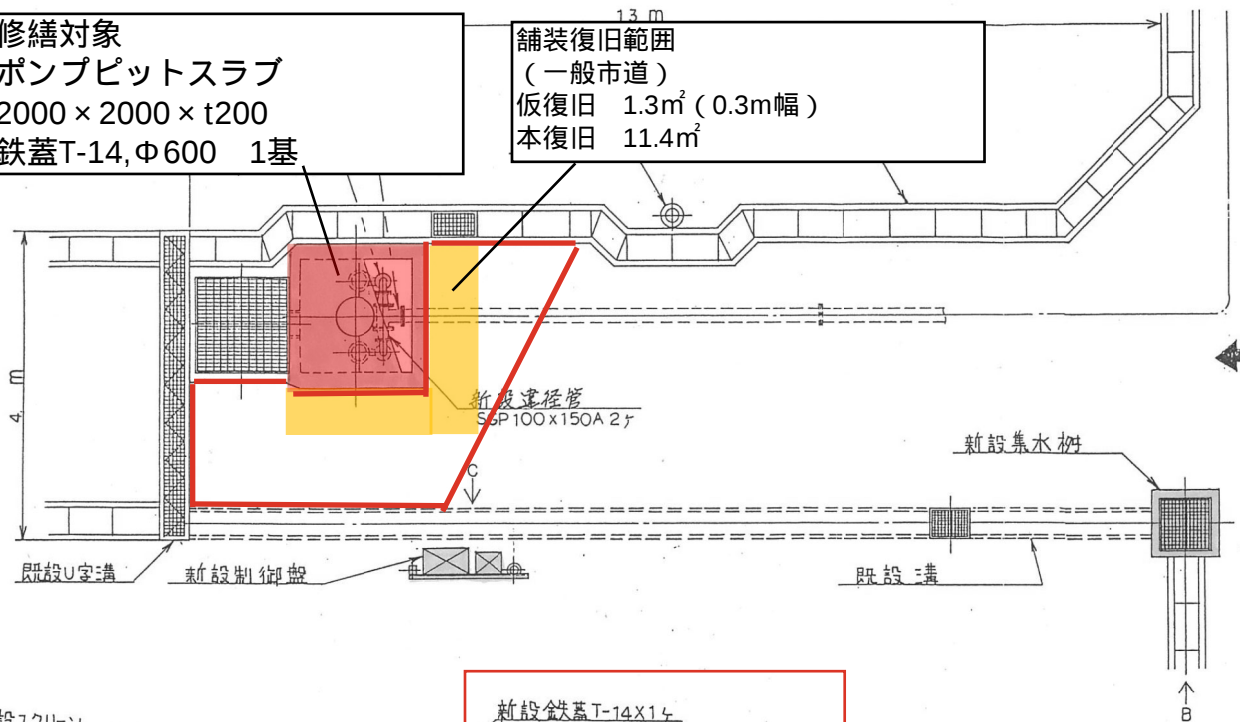
- (1)廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2)運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3)運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4)混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。



修繕名称	地域排水ポンプピット修繕
修繕場所	松戸市高塚新田453番地2地先
図面名称	案内図
発注者	建設部 下水道維持課
図面番号	1/4

修繕対象
ポンプピットスラブ
2000×2000×t200
鉄蓋T-14,Φ600 1基

舗装復旧範囲
(一般市道)
仮復旧 1.3㎡ (0.3m幅)
本復旧 11.4㎡



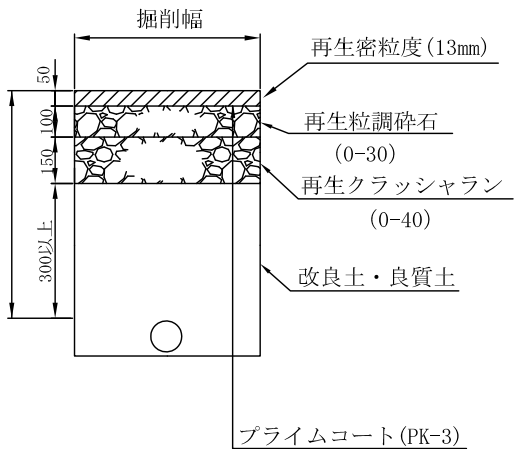
修繕名称	地域排水ポンプピット修繕		
修繕場所	松戸市高塚新田453番地2地先		
図面名称	詳細図 (参考)		
発注者	建設部 下水道維持課	図面番号	2/4

修繕名称	地域排水ポンプピット修繕		
修繕場所	松戸市高塚新田453番地2地先		
図面名称	舗装復旧図		
発注者	建設部 下水道維持課	図面番号	3/4

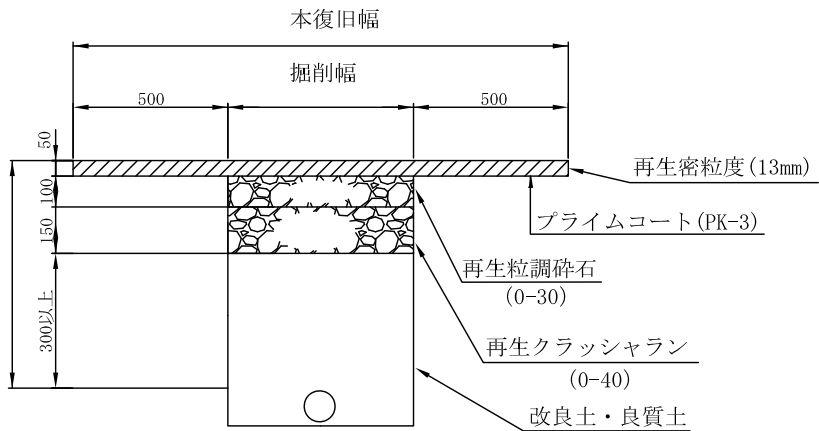
No. 8

松戸市一般

仮復旧



本復旧

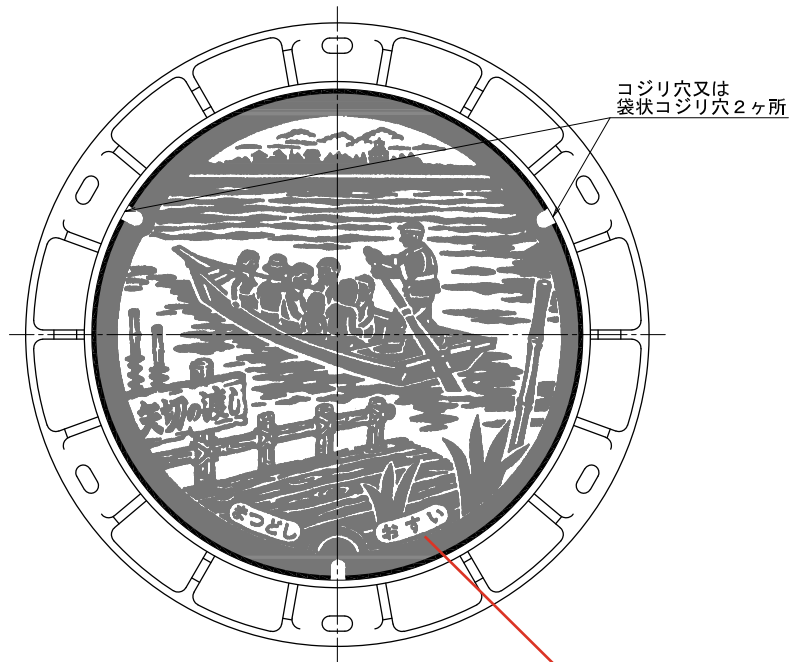


＊ 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

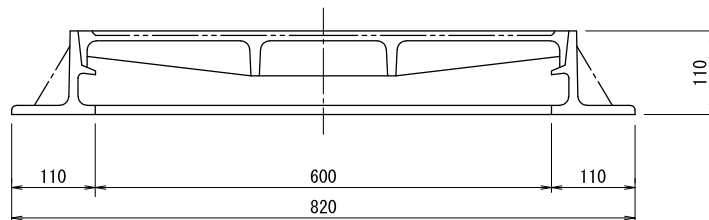
注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

(横断占用適用図)

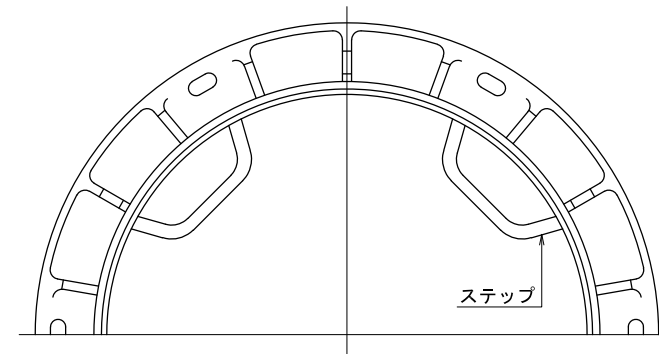
紋章平面図



断面図



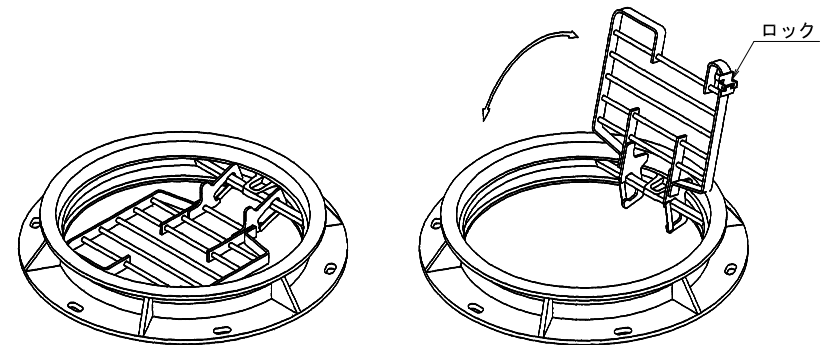
ステップ取付図（参考）



（特記事項）

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

ロック付転落防止用梯子図（参考）



修繕名称	地域排水ポンプピット修繕		
修繕場所	松戸市高塚新田453番地2地先		
図面名称	鉄蓋詳細図		
発注者	建設部 下水道維持課	図面番号	4/4